

令和4年度官民協働事業レビューにおける意見・評価

事業番号: 28-1

担当部局・担当課名: 農林水産部 農業経営課

事業名	就農スタートアップ支援事業	評価結果	一部改善
-----	---------------	------	------

事業レビューにおいて発言のあった主な意見

<p>【委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機械の導入支援で終わるのではなく、経営支援などにより離農する人を減らすような工夫が必要。 ・農業者が高齢化する中で、若い人を呼び込むためには、スマート農業の導入により「農業はカッコいいもの」という要素を打ち出す必要。 ・機械の導入に高額な補助金を出すのであれば、そのうちのいくらかを、農林振興センターやJAの指導だけでなく、プロの支援を受けるコストに充てるほうが成長が見込めるのではないか。 ・目標とする農業所得が250万円や500万円程度では目指すところが低すぎるのではないか、とりあえず就農してもらえばいいという施策ではなく、目指すところはもっと上であるべき。 <p>【県民評価者の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業をやってみたい人の相談対応のほか、補助金や支援先の紹介、支援を受けた後のフォローまでしてくれるような、ワンストップで伴走支援する施策が重要。

県民評価者の評価シートによる評価

県民評価者総数 11

評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (県の補助をやめ、国の補助のみ)	役割分担 見直し (県で補助していた対象の範囲を、国で補助するよう働きかける)	抜本的改善 (機械の導入ではなく支援の方法自体を変える)	一部改善 (機械導入後の経営指導など、事業効果を高めるための改善を行う)	現行どおり・拡充 (現行の機械導入の支援を継続する)
	0	0	1	6	4
県民評価者の主な評価シートコメント	<p>【一部改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業で生計を確保するのは厳しい。ネット販売の方法を農業者に教えることも解決策の1つかもしれない。 ・需要と供給のバランスを考えると、米以外の作物の新規就農者の育成が必要。 ・税理士やマーケティングのプロなど専門家の力を活用することが重要。 ・農業は儲からない業種という印象。海外からの安い農産物が多く輸入されている中で、県として新規就農者を増やしていく目的を整理する必要。 				
	<p>【現行どおり・拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業従事者の高齢化と減少は大きな問題となっており、本事業は新規就農者の確保と定着を促進するために必要な事業である。就農がうまくいかなかった原因の検証を行い、補助金が有効に活用されるような取り組みが必要。 ・市町村やJAなどの関係機関と連携し、事業を必要としている方に情報を伝えることが重要。 ・農業所得の向上のためのスマート農業の導入や、新しいマーケットの掘り起こしなどの取り組みにしっかり支援してほしい。 <p>【抜本的改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新規就農者の確保と確実な定着を図る」という目的のために、あらゆる選択肢を探ってベストな施策に絞り込むような取り組みが必要。 				

事業名	就農スタートアップ支援事業	評価結果	一部改善
------------	---------------	-------------	------

【参考】委員による評価

				委員総数	4
評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (県の補助をやめ、国の補助のみ)	役割分担 見直し (県で補助していた対象の範囲を、国で補助するよう働きかける)	抜本的改善 (機械の導入ではなく支援の方法自体を変える)	一部改善 (機械導入後の経営指導など、事業効果を高めるための改善を行う)	現行どおり・拡充 (現行の機械導入の支援を継続する)
	0	0	0	3	1

委員の主なコメント評価シート	<p>【一部改善】 ・本事業はこのまま続けていただきたいと思うが、県ならではのノウハウを活かしたソフト支援にも期待したい。</p> <p>【現行どおり・拡充】 ・攻めの姿勢で取り組んでいかれることを期待している。</p>				
----------------	--	--	--	--	--